

平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	10	担当部課名称	市民安全部市民相談課
事務事業名	相談業務事業		
見直しのタイトル	「暮らしと事業の相談」の運用の適正化		
添付資料 有無	無		

1 現状における課題

神奈川県行政書士会湘南支部と平成13年4月に協定を結び、「暮らしと事業の相談」を月1回開設し、相続手続や墓地に関する手続、事業の開始に必要な手続きについて相談に応じている。

年間72件の相談を実施できる枠組みだが、次のとおり相談件数は伸び悩んでいる。

平成27年度は 6件（約 8パーセント）

平成28年度は 4件（約 6パーセント）

平成29年度は10件（約14パーセント）

現時点において広報紙やホームページにおいて本相談の周知をしているところだが、運用方法等について検討が必要である。

2 業務改善の趣旨及び具体的内容

【趣旨】

「暮らしと事業の相談」の予約状況を検証し、運用の見直しを図る。

【具体的内容】

「暮らしと事業の相談」の更なる周知を図るとともに、相談日の前日時点で予約がない場合は相談を中止するよう、神奈川県行政書士会湘南支部と協議を重ね、合意形成を図ることで、次年度の運用変更を目指す。

3 改善により期待できる効果

このような運用の変更を行うことで、本事業の適正な運用を図ることができる。

【過去の開設数】

平成27年度 開設数 12回(予約があった月 5回)

平成28年度 開設数 12回(予約があった月 3回)

平成29年度 開設数 12回(予約があった月 8回)

【削減できる金額】

1回につき 3,500円

年12回開催した場合、42,000円の支出

年 8回開催した場合、28,000円の支出（14,000円の支出削減）

年 4回開催した場合、14,000円の支出（28,000円の支出削減）

4 実施スケジュール（概要）

6月 神奈川県行政書士会湘南支部に「暮らしと事業の相談」の運用について提案
7月～8月 神奈川県行政書士会湘南支部と「暮らしと事業の相談」の運用変更について協議
8月～9月 神奈川県行政書士会湘南支部執行内で検討
10月 神奈川県行政書士会湘南支部意思決定
11月～3月 協定書の見直し等と次年度の準備
4月 見直し後の運用開始

5 実施結果の振り返り